

川口市美術館建設基本構想（案）に対するパブリックコメント

令和元年 8 月 5 日現在

意見募集期間：令和元年 7 月 1 日（月）～7 月 3 1 日（水） 意見提出方法：窓口持参、郵送、FAX、電子メール
意見提出者数：17 名 意見数：38 件

番号	市民からの意見
1 (要望)	川口は人口も60万人を超え昨年には中核市にもなりました。リアは音楽芸術の殿堂とも言うべき施設として全国的に認知をされており、市外からの誘客も効果的に行っている状況であると思います。しかし、アート作品の発表場所としてのリアはその知名度、施設内容としても貧弱であります。またアートギャラリーATLIAは施設内容として貧弱であり、企画展をやってはおりますが、何を目的としているのか、何を意図した企画展なのか理解に苦しみます。このような状況の中で美術館を建設することは市民として歓迎することではありませんが、中途半端な特にATLIAに毛が生えたような施設を作るのであれば大反対です。かける所にはしっかりとお金をかけた市民が誇りに思えるようなしっかりとした美術館を計画していただきたいと思います。基本構想を拝見すると新しい美術施設として構想しているようですね。人を呼べる施設を地方自治体で作ることは難しいかもしれませんが、是非新しい目線で市の内外に川口市をPRできるような、しかも川口の文化度向上に寄与するような施設にして欲しいと考えます。
2 (要望)	美術館はどこにできるのでしょうか？噂では栄町公民館跡地にできるような話を耳にしたことがございます。噂のとおり栄町公民館跡地にできるのであればいいのですが、もし違う場所に作るとしても川口駅周辺（歩いて5分以内が理想）に作っていただきたいと思います。市内のどの場所にも川口駅には出ることばできます。市民みんなが気軽にいける美術館になるよう、市の端につくことだけは避けていただきたいと思います。
3 (要望)	川口駅から年寄りでも歩ける距離に作ってください。駅まではバスで行けます。駅から遠いといけません。バスの乗り換えは面倒で行けません。
4 (要望)	「全く新しい文化・芸術の発信拠点」としているが、それはどのようなものなのかピンとこないです。しかし、エンターテインメント性を重視していること、さまざまな表現に対応できる施設とすることなどが盛り込まれており、市がどこまでできるのか楽しみでもあります。立地について何も書かれていませんが、何故書かれていないのか疑問であります。駅からのアクセスを考えた利便性がいいエンターテインメント性を重要視した「全く新しい文化・芸術の発信拠点」であれば基本構想には賛成である。
5 (要望)	パブルのような好景気のときに作る施設は華美になりやすく無駄が多く使いにくい施設となりがちである。また、現在のようない経済状況のときに作る施設はお金をケチりすぎて結局半端で使えない施設になりがちである。美術館という性格上、より顕著にこの傾向になりやすいと思われるが、しっかりと議論し、必要とされる機能にはしっかりとお金を使った施設としてほしい。美術館はその市の、あるいは市民のアイデンティティのひとつである。川口の文化度の向上を図るためには川口の特徴を最大限引き出したこの構想に基づき、市民の誇りとなるような施設としていただきたいとします。
6 (要望)	川口の文化芸術振興のために美術館を建設することには大賛成であるが、いま市に足りないのはリアのような客席を持ったステージである。市民会館を失ったいま1000人規模のホールの整備を要望します。構想にある市民ホールで対応できるのであれば、更なるホールの充実を要望します。市民によるコンサート、演劇、発表会などリアは予約の競争率が高すぎて対応しきれいていません。よろしくお願ひします。
7 (要望)	基本構想では寄贈作品を展示する旨記載があったが、川口市にはどれくらいの寄贈作品があるのか。数だけではなく質も求められるが、美術館の展示に取うる質の作品を所有しているのか。所有しているのであれば、何故市民に見せないのか。これらの疑問を解決できるだけの作品を既に所有しているのなら、是非美術館をつくりそこで展示するべきである。
8 (要望)	博物館は整備しないのでしょうか？川口は古くからの歴史ある街です。川口の成り立ちや歴史的背景を踏まえた文化財の展示などができる博物館の整備も考えて欲しいです。
9-1 (要望)	川口市美術館建設構想、大いに賛成です。60万都市川口市に相応しい、瀟洒で品の良い美術館を期待します。既存のアトリアでは、新鋭・新進作家の企画を。これから造られる美術館では、歴史的評価の定まった作家の企画といった棲み分けはどうでしょう。
9-2 (要望)	数多ある地方美術館との独自化を図る為、“鑄物の街川口”として、“工業”をメインコンセプトとしたらいかでしょうか。
9-3 (要望)	産業革命以来の第2次産業をテーマにした美術品を、収集・展示する。こんな美術館は、全国的にも珍しいのではないのでしょうか。何れにしても、中途半端な美術館だけは願ひ下げです。川口市のランドマークと成り得るような美術品の建設を、願ひいたします。
10-1 (要望)	選定などであった「コミュニティ広場及び栄町公民館跡地」を建設とするように、約論在りきの姿勢を背景に、実質的には進められていませんか？第6回審議会でも、予定地選定を設備等の要件より先に第8回審議会にて扱ふべき旨の発言が見られました。候補地検討～選定は、施設要件の検討後とすべきです。建設地「石りき」になってはなりません。また、選定に先立って候補地周辺住民からの意見聴取とその反映をしっかりとこなうことが肝要です。
10-2 (要望)	さらに、新美術館創立にあたってはその建設コストだけでなく、運営コストについても精査されたい。管理運営を外注委託するなどして低コストを目指す手段も当然に考えられていると思うが、委託料などが歳費支出される事から、本当に創立が必要なのか？を真剣に検討されたい。また、人の集まる美術館を目指すなら、優秀な学芸員が不可欠です。潤沢な人件費の目処についても精査されたい。

11 (反対)	端的に言ってしまうと、いまさら川口市内に凡百な美術館を作る意義は無いと思慮します。無論、収蔵しておく施設が必要であるのなら、建設中の市役所なりに保管庫を設け、時宜をみて、現有のアトリアなどで展示を行えばよいと思います。それよりも、十全に稼働できる鋳物工場を維持し、さらに付随する旋盤などの金属加工などの技術を、子どもたちや、若い人々、さらに、新たな住民となる外国人たちにも伝える施設をお願いします。今後、弱っていく産業基盤を維持するうえでも、必要になることと思います。ご考慮いただければ幸いです。
12 (要望)	バンドのライブ等、音を出すことはできますか？リリアよりも安い値段でコンサートができるような場所も作って欲しいです。
13-1 (反対)	構想にも書かれている通り、「良好な状態で保存・継承できる施設」がないことによって、寄贈の機会や損失などの問題があります。そのため、「良好な状態で保存・継承できる施設」の必要性はあるでしょう。しかし、これについて疑問点があります。第一に、既存の施設の活用できないのか。展示においては川口市立アートギャラリー・アトリアや川口総合文化センター・リリアなどの施設がありますが、このような既存の施設を改良して、「良好な状態で保存・継承できる施設」にすることはできないのでしょうか。新しく建設するより既存の施設を改良した場合の方が、費用がかかるのでしょうか。
13-2 (反対)	第二に、交通機関の混雑の点です。仮に「川口市美術館」を建設し完成した場合、多くの人々が訪れるでしょう。ただ、来客者が増えると周辺の道路や交通機関の混雑を引き起こす可能性があります。現在、ご存じの通り京浜東北線川口駅の混雑はすさまじく、少しでも遅延が発生した場合は改札入場規制が頻繁に起こる状態です。そのような状態にも関わらず、来客者などが加われば、駅のキャパは限界をすぐに迎え、そして超えてしまいます。確かに、文化施設の必要性はあります。しかし、駅の混雑対策をより優先すべきではないでしょうか。
14-1 (要望)	新しいものなので 大丈夫と思いますが、バリアフリー、ユニバーサルデザインにのっかって建設、運営お願いします。エスカレーターが設置されるとしたら 横に二人ならぶような幅である必要はないと思います。横二人だと 駅の様子を見ていると 追い越して 歩く人がいます。追い越しは 右側で支えたい左側まひの人や杖を使う人にとっては 危険な時もあります。
14-2 (要望)	視覚障害の方と横浜美術館などへ行きました。あのように大きな美術館でさえ触れる作品は外にある彫刻数点で視覚障害の方が美術を楽しめる環境ではありませんでした。点字や、誘導ブロックの表示はもとより、触れることができる工夫をしたものをたくさんお願いします。誘導ブロックは原則赤色となっていて、弱視の方にとっては床との明度の違いは重要です。作品や部屋等とマッチする問題になるかもしれませんが、障害福祉課と連携し、障害者の団体などと協議し、全国の見本となるような良い方法を検討して採用して下さい。
14-3 (要望)	知的障害の方もなかなか美術を楽しめる環境にありません。横浜美術館で彫刻に触って注意されました。触ってはいけないのなら周りに フェンスを設置して下さい。横浜美術館で 知的障害者の方も楽しめるような 団体説明(作品の楽しみ方や材料に触っての説明)をして下さったのは 良い思い出でした。学芸員さんが良かったからだと思います。知的障害児・者や 幼児も楽しめるような部屋やワークショップを 考えて下さい。学芸員さんになった方にもよろしくお伝えて下さい。
14-4 (要望)	団体で行って雨などの時お弁当を食べる等の心配をせずとも楽しめるよう休憩室など工夫して下さい。
14-5 (要望)	アートギャラリーでもお世話になっていますが、障害者の展示に便宜を図って下さい。
14-6 (要望)	パブリックコメント以後も障害福祉課と連携して障害者団体に意見を求めて下さい。
14-7 (要望)	トイレについて誰でもトイレ(多機能トイレ)を各ブロックごとにあるぐらい数を整えて下さい。特に視覚障害の方はスイッチやレバーの場所が分かりにくく困ることが多いようです。全部の誰でもトイレにすべての機能がなければならぬというわけでもないかもしれませんが。誰でもトイレが多ければLGBTの方も葛藤なく利用できるかもしれません。これも障害者団体、難病団体、LGBTの方によく聞いて要望を反映させて下さい。女性用のトイレは男子用のトイレの3倍数が必要とよく言われます。よく言われているのに そのようにしているところは数少ないです。がんばって採用して下さい。
14-8 (要望)	なによりも人が親切なことです。利用させてもらっている <u>スポーツセンターは障害児・者にも親切です。</u>
15 (反対)	▽序章2、美術館の必要性 美術館の必要性を感じません。今ある、アートギャラリー・アトリア、川口総合文化センター・リリア、文化財センター、分館 郷土資料館、分館 旧田中家住宅、分館 歴史自然資料館、メディアセブン、図書館、南平文化会館、市内各地の公民館、芝支所、フレンジア、グリーンセンターを使用してできる範囲のものと、美術館の必要性とを照らし合わせるのが良いと思います。 それできないものについては、東京都内に世界的にも有名な美術館が複数ありますので、どちらかの美術館と提携してそちらで対応してもらえば良いと思います。美術館建設や維持管理などに使う費用よりもコストパフォーマンスは良いように思います。すべて自前でやる必要は無いと考えます。近くに歴史もノウハウもある美術館がありますので、連携することで対応できると思います。また、提携先の美術館の入館料の割引やワークショップの参加などが出来るようになると、優良なものに触れる機会が増えることで、幅広い知見が育まれると思います。 ▽第1章 美術館の目指す姿5、美術館と市内文化施設等との連携 連携先の施設ですが、鳩ヶ谷庁舎、スキップシティ、NHKもあると良いと思います。映像コンテンツについては、スキップシティを世界の拠点にするくらいの位置づけで良いと思います。

